校長室便り(NO.8)

夢実現 ~百見は一験に如かず~

熊本県立甲佐高等学校

平成30年12月21日

1年間の中で最も学校行事が多く、長い2学期もいよいよ終業式を迎えることとなりました。この2学期は、青垣祭(文化祭)を始め大きな行事が多く、生徒たちも慌ただしさを感じながらも、互いに協力し合い充実した2学期を送ってくれたようです。いよいよ平成最後の冬休みとなります。今年1年を謙虚に振り返りながら、新しい年に大きな希望を抱き、充実した冬休みを送ってほしいと願っています。

【3年生、進路実現100%達成】

2学期は、人生の大きな分岐点となった3年生の進学、就職試験でした。甲佐町役場への合格など就職はもちろんのこと、進学においても全員が合格を頂き、年内のうちに「進路実現100%」を達成することができました。生徒自身が日々学校生活を懸命に送ることにより身に付けてきた力を大いに発揮した結果であると思います。また、先生たちの指導、支援、保護者の方々のバックアップあってのことだと思います。企業の方々や進学先の方々の期待に応えられるよう、残りの学校生活でさらにスキルアップを図ってほしいと思います。今年も、たくさんの求人やたくさんの指定校推薦等をいただきありがとうございました。



【責任ある行動だった修学旅行】

12月11日(火)から12月14日(金)まで、2年生は関西方面の修学旅行でした。初日の「なんばグランド花月」の研修においては、会場にたくさんの中学生、高校生の修学旅行生もいる中、プロフェッショナルな演技を生で見ることができ、大変有意義な研修でした。演技そのものも勿論のこと、自分の仕事に対する誇りと仕事にかける熱い思いを体感することができ本当に感動しました。また、最終日の「カップヌードル発明記念館」の研修では、平日に関わらず多くの観光客の方が訪れていました。安藤百福様の社会への貢献度や発明にかける強い思いなど、多くのことを学ぶことができた研修でした。目標を達成するためには、諦めずにコツコツと努力していくことがいかに大切であるかを私自身強く感じることができました。しかし、一番感動して心強く思ったことは、生徒たちの自覚ある行動でした。集団行動と同時に個人の行動も多く取り入



れられた行程でしたが、生徒たちはほとんど時間に 遅れることなく、ゆとりを持って集合するなど、そ の行動は本当に素晴らしいものでした。自分がこう やって修学旅行の研修ができるのも、先生方、旅行 業者の方、そして、日々支援をしていただいている 保護者の方々への感謝を行動で表しているかのよ うでした。頼もしく感じる生徒たちの姿でした。

来年は、東京オリンピック・パラリンピックが7 か月後に迫った、東京への修学旅行を計画していま す。

2018年もやがて終わり、新しい年、2019年がやってきます。今年一年、様々な方々のご支援により、甲佐高校は学校教育活動を推進することができました。皆様方のご支援、ご協力に感謝申し上げます。来る年が、すべての方にとりまして素晴らしい年になることを心より願っております。今年1年、大変お世話になりました。ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。